

指揮者変更のお知らせ 【太田市民会館】

このたび群馬交響楽団ニューイヤーコンサート公演において予定しておりました指揮者「大井剛史」は、健康上の理由により降板することになりました。これに伴い指揮者「梅田俊明」が2020年1月8日（水）群馬交響楽団ニューイヤーコンサートの指揮を務めます。なお、演奏するプログラムに変更はございません。梅田俊明は2006年には大ブームとなったドラマ「のだめカンタービレ」に、演奏及び指揮指導で参加し注目を集めるなど、幅広い作品を聴衆に紹介しております。

なお、今回の変更に伴うチケット代金の払い戻しはございません。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

大井剛史の指揮にご期待くださいました多くのお客様には誠に申し訳ございませんが、どうぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ： 太田市民会館 ☎0276-57-8577

【指揮者】 梅田俊明 プロフィール



©K.Miura

東京に生まれる。5歳よりピアノを始め、井上直幸、新井精氏等に学ぶ。1984年桐朋学園大学音楽学部を卒業。86年同研究科を修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、コントラバスを小野崎充、ピアノと室内楽を三善晃の各氏に師事する。83、84年には来日中のジャン・フルネ氏にも学んだ。86年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマル・スイトナー氏に師事し、研鑽を積んだ。帰国後、89年12月より92年4月まで日本センチュリー交響楽団指揮者を務めた。90年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者に就任。92年4月より96年3月まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団の指揮者の任も果たした。2000年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み、2006年3月までその任を務めた。

客演としては、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、新日本フィルハーモニーを始め、国内主要オーケストラと長年に

わたり2001年第1回、及び2004年第2回仙台国際コンクール（いずれもヴァイオリン、ピアノの2部門で開催）では、全ての協奏曲を指揮し、出場者、聴衆、国内外の審査員から絶賛を博した。06年には大ブームとなったドラマ「のだめカンタービレ」に、演奏及び指揮指導で参加し注目を集めた他、レコーディングにも参加。国内だけではなく、96年1月には南西ドイツ・フィルハーモニーとスロヴァキア・フィルハーモニーの定期演奏会に出演、いずれも好評を博した。的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼も厚い。また桐朋学園大学、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。